

競技注意事項

1. 本大会は2009年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
2. 練習について
 - (1) 大会期間中の練習は原則として大原高校グラウンドおよび雨天走路とする。また連日、競技開始15分前まで平塚競技場トラックでの練習をすることができる。
 - (2) 跳躍・投てき練習は審判員の指示に従って、競技開始前に競技場所にて行う。
 - (3) 走高跳・棒高跳の練習は、ゴムひもを用いて行う。
3. 招集について
 - (1) 招集所はマラソングート付近(100mスタート地点後方)に設置する。なお、ハンマー投の招集は東海大学湘南校舎陸上競技場、棒高跳の招集は競技実施場所(バックストレート側ピット)で行う。
 - (2) 各種目の招集時刻は下記のとおりとする。なお、招集の開始および完了時刻は、競技日程を基準として設ける。
 - (3) 代理人による点呼は認めない。同時進行種目への出場競技者は「重複出場届」に必要事項を記入の上、必ず招集所(競技者係)に提出すること。なお、「重複出場届」はインフォメーション・センターと招集所にて配布する。
 - (4) 招集完了時刻に遅れると該当種目を棄権したものととして処理する。

【トラック競技】

予選・準決勝			決 勝	
組	開 始	完 了	開 始	完 了
1～3	競技開始 30分前	競技開始 20分前	競技開始 30分前	競技開始 20分前
4～6	競技開始 15分前	競技開始 5分前		
7～9	競技開始 同時刻	競技開始 10分後		

【フィールド競技】

棒高跳		他の跳躍種目		投てき種目	
開 始	完 了	開 始	完 了	開 始	完 了
競技開始 80分前	競技開始 70分前	競技開始 50分前	競技開始 40分前	競技開始 60分前	競技開始 50分前

4. 不出場(棄権)について

当日やむなく出場しない場合は「不出場届」に必要事項を記入の上、必ず招集所(競技者係)に提出すること。ただし、6月10日(水)までにFAXにて本連合事務局まで棄権を申し出た場合はその必要はないが、送信後に必ず電話などで確認すること。なお、「不出場届」はインフォメーション・センターと招集所にて配布する。

5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは1名につき2枚配付する。
- (2)トラック種目は腰ナンバー標識を着用する。腰ナンバー標識は競技者係が招集所にて配布し、レース終了後回収する。
- (3)ハンマー投については、13日(土)に会場である東海大学湘南校舎陸上競技場にて招集の際に配布する。ただし、前日に他の種目に参加申込をしている競技者については、すでに配布済みのため各自責任をもって持参すること。
- (4)ナンバーカードの地色、数字の色は下記のとおりとする。
 - 男子……黄色地×黒数字
 - 女子……ピンク地×黒数字
 - 5000m、10000mW……白地×黒数字

※5000m、10000mWの出場者には、招集の際に白字×黒数字のナンバーカード(レース用)を配布する。ただし、その際に事前に配布したナンバーカードを持参すること。また、この2種目については両腰に腰ナンバー標識を着用する。

6. 用器具について

- (1)競技に使用する用器具はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものを使用する。
- (2)やりは個人所有のものを使用することができる。その場合、招集完了時刻1時間前までに用器具庫にて検定を受けること。なお、返却は当該競技終了後に用器具庫にて行う。

7. 競技について

- (1)競技者は所属の正式ユニフォームを着用する。また、競技場内への入退場は競技役員の指示に従う。
- (2)競技者はビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバー、携帯電話またはそれに類似する機器を競技エリアに持ち込んで서는ならない(「第144条 助力」参照)。
- (3)100m、200m、100mH、110mHは、条件によってバックストレートで実施することがある。
- (4)5000m、10000mWにおいては天候に応じて給水を行う場合がある。
- (5)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は原則として下記のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子走高跳	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	2m14	2m17	3cm
女子走高跳	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	3cm
男子棒高跳	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	5m15	5m20	5cm
女子棒高跳	2m90	3m00	3m20	3m40	3m60	3m70	3m80	5cm

8. 競技の結果・番組編成について

- (1)競技結果および準決勝・決勝のスタートリスト等は正面玄関前およびマラソンゲート付近(100mスタート地点後方)に掲示する。
- (2)同タイムの競技者がありレーンが不足する場合は、写真を拡大して次のラウンドへの進出者を決定する。それでも決まらない場合は当該競技者もしくは代理人により抽選を行って決定する(「第167条 同成績」参照)。

9. 抗議・上訴について

競技進行中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、その競技者または代理人により結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次ラウンドがある場合は15分以内）にインフォメーション・センター（正面玄関前）に申し出ること。その後、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。（「第146条 抗議と上訴」参照）。

10. ドーピングコントロールテストの実施について

ドーピングコントロールテストはJADAおよびJAAFの規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は競技役員の指示に従ってテストを受けること。

11. 表彰について

- (1) 各種目第3位までに入賞した競技者にはメダルと賞状と副賞を贈与するので、競技終了後、表彰係の指示に従うこと。また、第4位～第8位の入賞者には賞状を贈与するので、競技終了後、インフォメーション・センターにて受け取る。ハンマー投については、競技終了後に準備が完了次第、ハンマー投会場にて表彰を行う。
- (2) 表彰を受ける際には、上衣は各校の公式ユニフォーム、下衣は公式ジャージを着用すること。その際、上衣にはナンバーカードを必ず着用すること。

12. 商標について

競技者は「競技会における広告及び展示物に関する規程」を遵守する。基準を超える商標については必ずガムテープ等で隠すこと。

13. 更衣室の使用について

更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自が責任をもって管理すること。

14. 衣類等の運搬について

本競技会ではスタート前に脱衣した衣類等の運搬は基本的に行わない。ただし、出場人数の関係から混雑が予想される100m、200m、100mH、110mHの予選についてはフィニッシュ地点付近まで衣類等の運搬を行う。当該種目については招集所にて袋を配布する。

15. その他

(1) 理学療法について

理学療法についての相談がある場合はインフォメーション・センターまで申し出ること。

(2) 応急処置について

競技中の事故等によって負傷した場合は、医師が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする（ただし、「日本学生陸上競技総合補償制度」が適用される）。また、事故の結果については本連合では一切責任を負わない。

(3) 盗難・紛失について

大会期間中に主催者に届けられた物品等については一時的にインフォメーション・センターにて保管するが、その他の盗難・紛失に関しては責任を負わない。

- (4) 平塚競技場の芝生への立ち入りについて
管理者側からの指導で競技運営に関する事以外では、芝生への立ち入りは一切禁止する。
- (5) 平塚市総合公園平塚競技場の開門および閉門時刻について
- | | (開 門) | (閉 門) |
|----------|-------|--------|
| 6月12日(金) | 9時00分 | 20時00分 |
| 13日(土) | 7時30分 | 19時00分 |
| 14日(日) | 7時30分 | 16時30分 |
- 開閉門時刻は厳守して競技場に入場すること。
- (6) インフォメーション・センターの開放時間について
- | | |
|----------|----------------|
| 6月12日(金) | 9時30分 ~ 20時00分 |
| 13日(土) | 8時00分 ~ 18時45分 |
| 14日(日) | 8時00分 ~ 16時10分 |
- (7) 大原高校グラウンドの開放時間について
- | | |
|----------|-----------------|
| 6月12日(金) | 15時00分 ~ 17時00分 |
| 13日(土) | 9時00分 ~ 17時00分 |
| 14日(日) | 9時00分 ~ 15時30分 |
- (8) 競技結果等の広報について
記録処理終了後、随時下記の携帯サイトに速報として発表する。



本連合携帯サイト <http://www.iuau.jp/i/>

- (9) その他、不明な点については、インフォメーション・センターに問い合わせること。